

ヤングアダルト YAコーナー充実中!!



YA (ヤング・アダルト) コーナーには、小説やライトノベルはもちろんのこと、気軽におもしろく学べる本、これからの進路について考える本などが揃っています。

本館2階・東松戸地域館・小金分館にあります。

ぜひ立ち寄ってみてください♪

本館2階・東松戸地域館では特集展示を実施しています!

Animageなどの雑誌もあるよ。

本館

TEL 365-5115

松戸 2060
交通/JR松戸駅から徒歩約7分



東松戸地域館

TEL 703-0615

東松戸 2-14-1 ひがまつテラス内
交通/JR東松戸駅下車徒歩約4分



小金分館

TEL 343-8658

小金きよしヶ丘 3-1-1
市民センター内
交通/JR北小金駅下車徒歩約12分



インターネットから本を検索・予約できます

<https://www.library-matsudo.jp/opac/wopc/pc/pages/TopPage.jsp> (PC)
<https://www.library-matsudo.jp/opac/sp> (スマホ)



YA 紹介ページ



図書館利用案内

わかば通信

YA (「ヤング・アダルト」の略称で^{りやくしょう}中高生のみんなのこと。) 向けに おすすめの本を紹介します。

特集

ことばを考える



ふだん何気なく使っていることば。ちょっとだけ「ことば」のこと、考えてみない?

新刊情報

YA

世代におすすめ!



松戸市立図書館
日本十進分類法
オリジナルキャラクター
8類 八重(やえ)

令和6年 7月発行

松戸市立図書館 ☎047-365-5115

<http://www.city.matsudo.chiba.jp/library/>

YA世代におすすめ！新刊情報

『すうがくさんぽ』
(前田 まゆみ/著 あすなろ書房)



数学は計算の技術を暗記することではなく、さまざまなものの見方の経験。絵本作家が、理解できないから目をそむけるのではなく、素直に自由に、数学の世界で何が語られているかを感じとったことを綴る。

『入門 高校生のための金融リテラシー 図鑑』
(泉 美智子/監修 学事出版)



「お金を稼ぐ、使う、貯める、増やす」という観点から、生涯にわたる資産形成について豊富なカラーイラストとともに解説。お金の正体や市場経済のしくみなども取りあげる。

『美術の進路相談』
(イトウ ハジメ/著 ポプラ社)



「絵を描くことが仕事になったらいいのにな」 そのためには、どんな進路を進んだらいい？ 大学で美術を教える著者が、画家・漫画家・イラストレーター、研究者など、美術の世界で活躍する人たちの仕事をやさしく紹介する。

『君の物語が君らしく 自分をつくるライティング入門』
(澤田 英輔/著 岩波書店)



他人と比べず、他人の評価に縛られず、自分のために書いてみませんか？ 中学生が自分の可能性を広げていけるよう、書くことの魅力を伝える。うまくなりたと思ったら読んでほしい本5冊も紹介。

『イエロー・ジャケット/アイスクリーム』
(木村 浪漫/著 早川書房)



西暦2096年、犯罪集団“アサヒナ・ファミリー”の朝比奈伊右衛郎は、ハニユウ・コーポレーション CEOの手に墮ちる。羽生芸夢学園で電装化体験型遊戯の特殊訓練を受ける彼に、父・朝比奈レインボウの刺客が迫り…。

『はなしをきいて 決戦のスピーチコンテスト』
(マギー・ホーン/著、三辺 律子/訳 理論社)



スピーチコンテストで優勝を目指す、ミドルスクール2年生のヘイゼル。彼女の宿敵は、昨年の優勝者のエラだった。学校の人気者エラと友だちがいないヘイゼルはほとんど接点がなかったが、ある出来事をきっかけに急接近し…。

ことばを考える



『ことばハンター 国語辞典はこうつくる』
(飯間 浩明/著 ポプラ社)

国語辞典をつくるために、ことばを集め、説明を書く。そのために、毎日本やテレビ、インターネットや街の中などを観察し、ことばを探す、「三省堂国語辞典」編集委員の著者が、辞書をつくる仕事について綴る。



『外国語の遊園地』
(黒田 龍之助/著 白水社)

伝統の歯みがき、ラパンの雨傘と日傘、愛唱歌集…。はじめて手にする海外製品は、ときになぜかなつかしい。旧ソ連や東欧で出会ったさまざまな物とおして、外国語の魅力を語る「物語」。



『物語、英語で読んでみない？』
(佐藤 和哉/著 岩波書店)

楽しく英語を上達させる方法として「英語で書かれた物語を読む」ことを紹介。やさしい英語の「最後の言葉」「まだらの紐」「ゆきおんな」を場面ごとに取りあげ、日本語の説明とともに収録する。



『「自分らしさ」と日本語』
(中村 桃子/著 筑摩書房)

ことばには<その人らしさ>を表現し、話している人同士の間接的な働きがある。社会言語学の知見から、「名前」「呼称」「方言」といった観点を通して、ことばで「自分」を表現するとはどういうことかを明らかにする。



『神さまがくれた漢字たち』
(山本 史也/著、白川 静/監修 新曜社)

中国の古代の人々の、きわめて豊かな、自然や社会に対する切実な思いがこめられている漢字。古代の人々独特の考え方に触れながら、漢字の成り立ちとその世界について紹介する。<白川文字学>のもっともやさしい入門書。

